

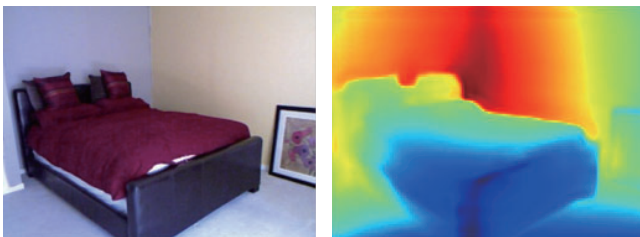
FIT2020 情報科学技術フォーラム

- ・ H14年度に制定された全国規模の学会大会
情報処理学会と電子情報通信学会が共催
- ・ 電子・情報・通信の技術開発に関わる論文を掲載
例年400～500件ほど

ヤングリサーチャー賞

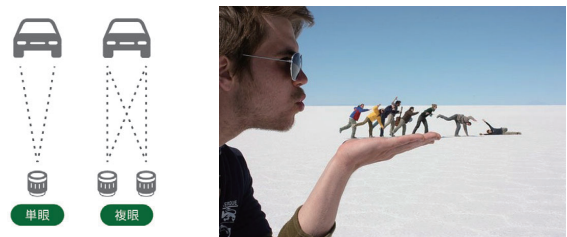
1. 共催のいずれかに属する33歳未満の学会員であること
 2. 選奨セッション（査読付き）または一般セッションの
発表論文であること（学生セッションは含まない）
- ・ 以上を満たす発表論文のうち
全発表論文の1.5%未満の数で、優れた研究を表彰する仕組み
 - ・ 今年は4件の論文が表彰された

1. 深度推定とは



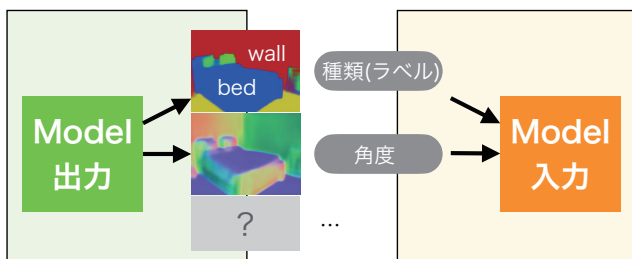
深度 カメラから被写体までの距離
 欲望 画像1枚で精度の高い推定がしたい

2. 単眼と縮尺



深度の逆算には原寸の情報が必要
 でも画像1枚だけからは求められない…

3. 実寸情報の代替



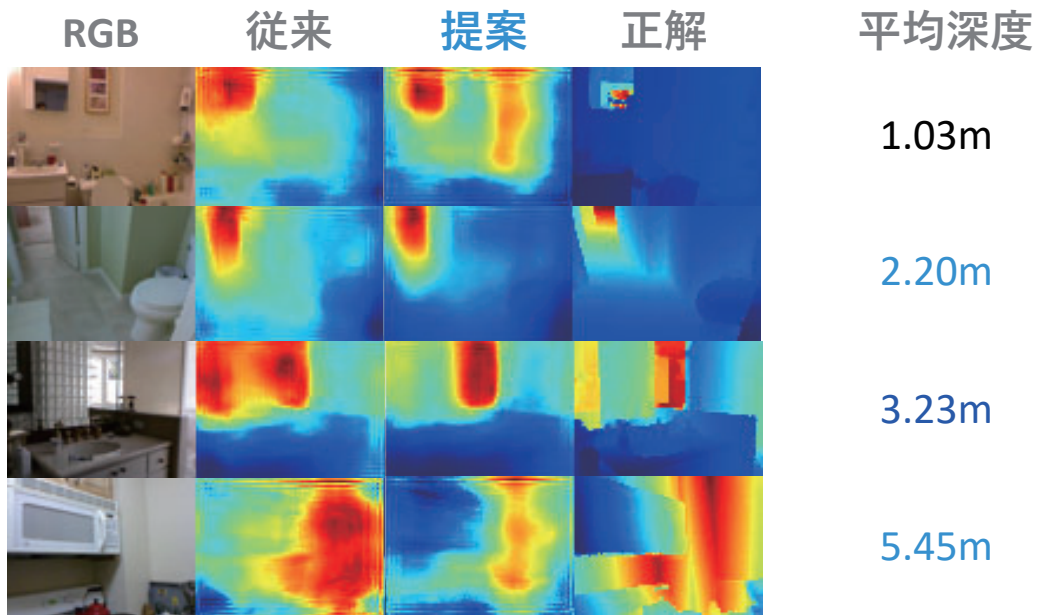
Multi-task 出力=汎用性を増やし補助
Multiple 入力=ヒントを増やし補助

4. 統合モデル



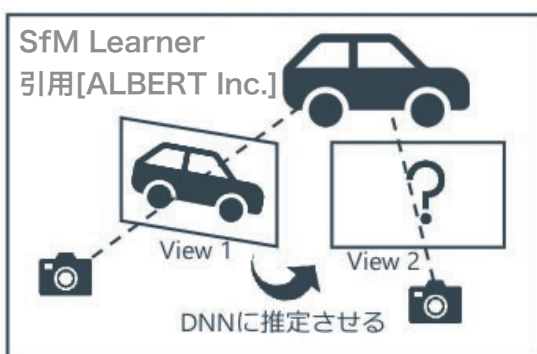
Multi-task+Multipleの統合モデル
 深度勾配（物体の形状）を推定し精度UP

実験結果の可視化: 教師あり学習



- ・ 0m~10mを対象とした屋内データセットに対し
推定精度を平均50cm改善した

実験結果の可視化: 教師なし学習



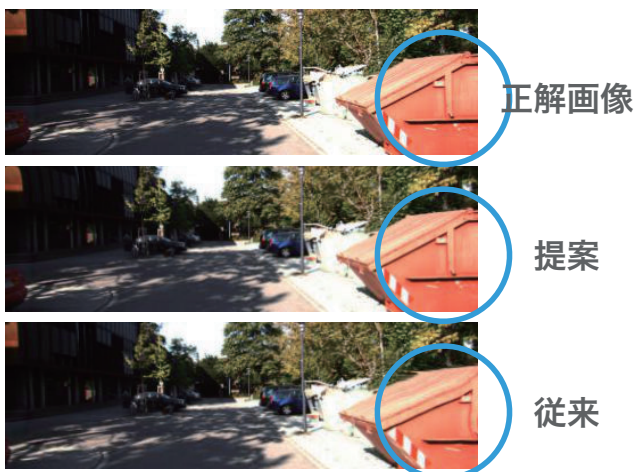
根本的なアイデア

- ・ 深度 = 3D空間を再現できれば
カメラの移動量を適用して
N秒後の画像が復元できるはず

画面復元の操作

1. 深度を推定し3D空間を作成
2. **カメラの移動量を推定**
3. (2)を使って3D空間を歪ませる

- ・ 深度推定は改善できなかったが
カメラの移動量の推定を改善できた





表彰

ホーム > 表彰 > FITヤングリサーチャー賞

FITヤングリサーチャー賞

賞の概要	平成14年度からスタートした情報処理学会と電子情報通信学会情報・システムサイエティおよびヒューマンコミュニケーショングループ合同の会議「情報科学技術フォーラム (FIT)」において、新進の科学者または技術者に贈呈される賞。
選考委員	FIT学術賞選定委員会(委員長:FIT学術賞選定委員会委員長)
選考方法	FIT当日に座長および聴講者から受賞候補推薦の投票をしてもらい、その投票結果を元にFIT学術賞選定委員会で1次投票、必要に応じて2次投票を行い最終的にFITの全論文数1.5%を上限として選定する。
選考基準	FIT申込み時、及びFIT終了時において情報処理学会または電子情報通信学会の会員(申込時は入会申請中含む)であること。FIT開催年の12月31日において満33歳未満であること。FIT開催時に選奨セッションまたは一般セッションの講演者として登録かつ講演を行ったものであること。過去にFITヤングリサーチャー賞を受けたことがないもの。
表彰等	次回のFITにおいて授与。賞状、および賞金3万円。

[学会について](#)

[提言/プレスリリース](#)

[表彰](#)

[学会誌「情報処理」](#)

[論文誌](#)

[電子図書館](#)

[イベント](#)

[研究会](#)

[ITフォーラム](#)

[IPSJカレンダー](#)

[会員サービス](#)

[図書販売](#)

[教育・人材育成](#)

[認定情報技術者制度](#)

[コンピュータ博物館](#)

[情報規格調査会](#)

| [FIT2020](#) | [FIT2019](#) | [FIT2018](#) | [FIT2017](#) | [FIT2016](#) | [FIT2015](#) | [FIT2014](#) | [FIT2013](#) | [FIT2012](#) | [FIT2011](#) | [FIT2010](#) | [FIT2009](#) | [FIT2008](#) | [FIT2007](#) | [FIT2006](#) | [FIT2005](#) | [FIT2004](#) | [FIT2003](#) | [FIT2002](#) |

FIT2020

第19回情報科学技術フォーラム (2020年9月 オンライン開催)

レンダリング時の背景モデル参照を用いたリアルタイム自由視点映像の高品質化に関する検討	渡邊 良亮君 (KDDI総合研究所)
深層畳み込みネットワークの初期化アルゴリズム	邊見 貴彦君 (群馬大学)
時刻ドリフトを利用した機器特徴抽出手法における経年変化の検討	小林 明珠君 (小山工業高等専門学校)
深度と深度勾配の相互変換によるMulti-task learningを活用した教師なし単眼深度推定	高嶺 潮君 (琉球大学)

FIT2019

第18回情報科学技術フォーラム (2019年9月 岡山大学 津島キャンパス)

SATソルバを用いたC1P分割問題の解法	原田 崇司君 (高知工科大学)
脚部運動の左右同時最適化に基づくヒューマノイドロボット受身制御	岩田 凜平君 (名古屋工業大学)
部分的選好下における学校選択メカニズム	和田 凌司君 (九州大学)
敵対的生成ネットワークによる間質性肺疾患患者の予後予測	植村 知規君 (Massachusetts General Hospital / 九州工業大学)
フリッカに基づく固有画像分解とその色補正への応用	大屋 瑠璃君 (九州工業大学)
鑑賞行動における記憶促進のための音声ガイド呈	平林 輪樹君 (東京大学)

IPSJカレンダー
学会のイベントはこちらから ▶▶▶

入会する
入会申込み方法と会員サービスのご案内など

論文等の著作権の取り扱い
— 本学会発行の出版物にご登載される方はぜひご一読ください —

事業部門へのお問い合わせ

事業 / 国際担当

E-mail: jigyo@ipsj.or.jp
Tel. 03-3518-8373